

2024年度：3年生用 ゼミコースアウトライン（言語学）

Instructor: 川原功司 (Koji Kawahara)

Email: kkoji@nufs.ac.jp

Time: 水曜2限（変更可能性あり）

Place: TBA

授業の進め方: 最初の数回は、担当教員が説明します。その後、課題文献ないしは各自で調べたい文献に基づいて発表・議論する形で進める予定です。成績評価は、主に発表とハンドアウトの内容と授業内での議論を基準にして決定する予定です。

授業概要: 日頃は何も意識せず自然に使っている言葉ですが、その使い方には一貫した規則があり、これは「文法」と呼ばれています。今年は身近な文法現象について扱い、それがどのように分析されるのかについて考えていきましょう。

今年のテーマ: 今年は言語の不思議について、様々な角度から考えていきます。

- ・「俺、スイカのこと好きなんだよね」と「俺、スイカ好きなんだよね」はどこが違う？何か変？
- ・「あ」と「い」ではどちらが大きい？「ゴジラ」は強そうなのに「コシラ」や「クリラ」が弱そうなのはなぜ？（注:「ゴジラ」は「クジラ」と「ゴリラ」を合わせた造語です）
- ・「今回のテーマはえーっと、…」え？「今回のテーマはあの一、…」じゃダメなんですか？
- ・「あかさたなはまやらわ」はなぜこの順番？
- ・「パーパカパー」何となく意味が分かるのはなぜ？
- ・格助詞の「を」について考えてみませんか。

テキスト: 以下の本を参照します。

- ・水野大貴・堀元見. 2023. 『言語オタクが友だちに700日間語り続けて引きずり込んだ言語沼』あさ出版。

